大腸菌生菌検出
(総菌:SYTO9、死菌:PI)

*光源波長：488 nm（2試薬検出法）

微生物迅速検出装置
rapid microscope system
rapisco
ラピスコ

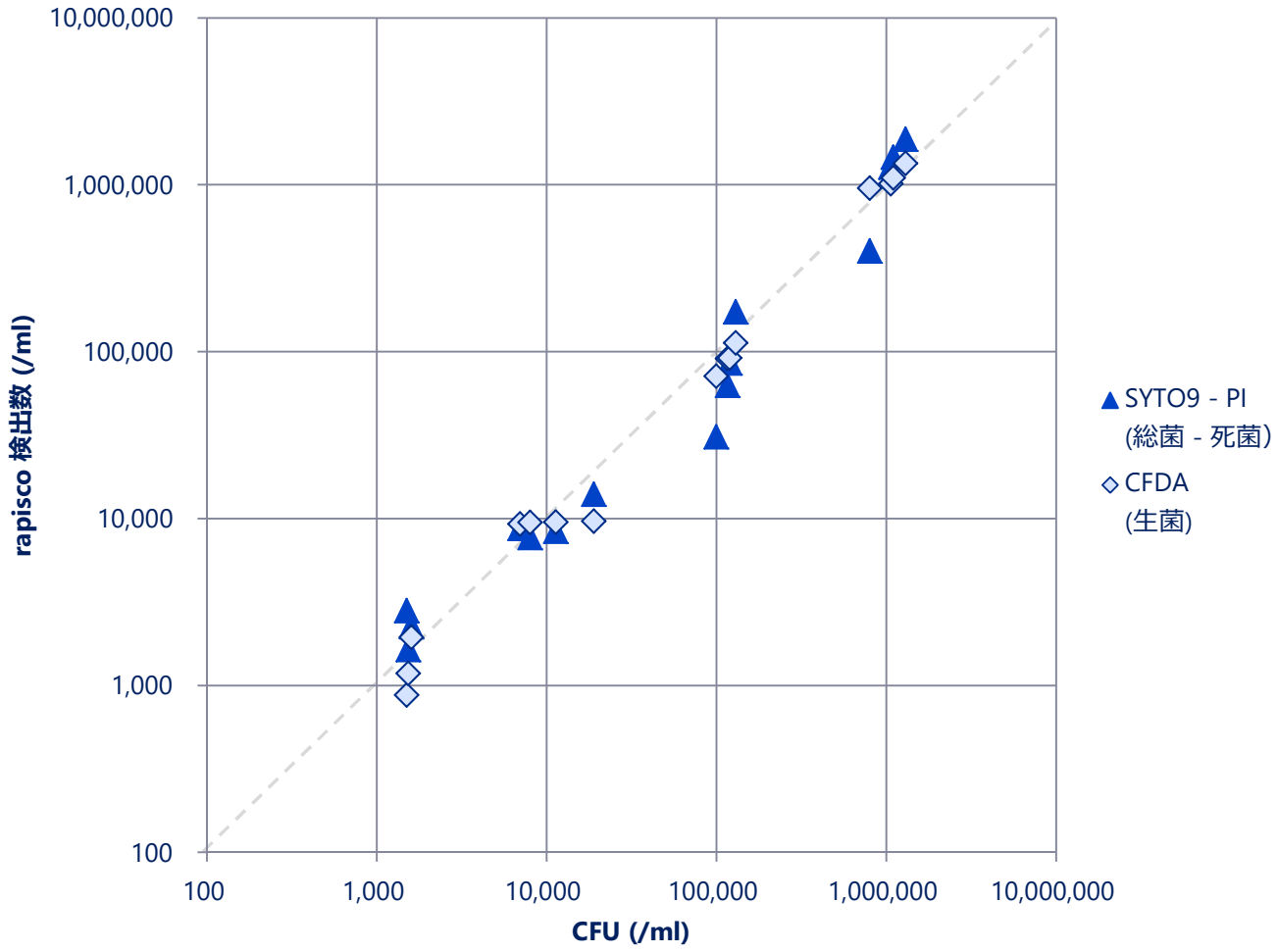
使用検体：大腸菌培養液(*Escherichia coli* HB101)

検出手順

①検体を生理食塩水で段階希釈
②希釈した検体をろ過したメンブレンフィルター3枚を用意
③SYTO9、PIと生菌染色試薬CFDAでそれぞれ染色(35℃、10分間)
④**rapisco**で撮影、自動検出
⑤検体を標準寒天培地に塗布、48時間後にコロニー計測

検出結果

検量線(検出数、培養法相関)



生菌染色での検出数と比較して、SYTO9(総菌)からPI(死菌)を引いて求めた生菌数も培養法(CFU)と同等の検出が可能。

*2試薬検出法は、酵素活性型の生菌染色試薬での検出が難しい場合に
DNA結合型の総菌染色試薬と死菌染色試薬を用いた生菌検出方法としてご紹介しております。

SHIBASAKI